

I-MASK+

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の予防および早期の外来患者治療に関するプロトコル

1/2ページ

予防に関するプロトコル

| | |
|--|---|
| イベルメクチン¹ (Ivermectin) | 高リスクの方のための予防治療 1回につき0.2 mg/kg (食前または食後に服用) – 当日1回服用、48時間後にもう一度、以降週1回服用* |
| | 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 曝露後の予防治療² 1回の投与量は0.2 mg/kg – 1日目に1回の投与を行い、48時間後に2回目の投与をする* |
| ビタミン D3 | 1,000–3,000 IU/日 |
| ビタミン C | 500–1,000 mgを1日2回 |
| ケルセチン | 250 mg/日 |
| 亜鉛 | 30–40 mg/日 |
| メラトニン | 就寝前に 6 mg (眠気を引き起こす) |

早期の外来治療に関するプロトコル³

| | |
|---|---|
| イベルメクチン¹ (Ivermectin) | 1回につき0.2~0.4 mg/kg (食前または食後に服用) – 1日1回、5日間、または回復するまで服用* 以下の場合は、上限の用量範囲を使用すること: 1) より侵襲性の高い変種が存在する地域である、2) 症状が発現してから5日目以降に、または呼吸不全期に治療を開始した、または、3) 複数の合併症やリスク因子がある。 |
| フルボキサミン⁴ (Fluvoxamine) | 50mgを1日2回、10~14日間服用 以下の場合は、イベルメクチンに追加して服用する: 1) イベルメクチンを2日間投与しても最小限の感応しか得られない、2) より侵襲性の高い変種が存在する地域である、3) 症状が発現してから5日目以降に、または呼吸不全期に治療を開始した、4) 多数の合併症やリスク因子がある。患者がすでに選択的セロトニン再取り込み阻害薬 (SSRI) を服用している場合は、忌避すること |
| 鼻咽頭の衛生状態 | 霧状にしたエッセンシャルオイルを1日3回吸入 (ヴェポラップなど) および/またはクロルヘキシジン (Chlorhexidine) /ベンジダミン (Benzylamine) の洗口液でうがいをするか、またはベタジン (Betadine) の鼻腔スプレーを1日2~3回使用すること |
| ビタミン D3 | 4,000 IU/日 |
| ビタミン C | 500–1,000 mgを1日2回 |
| ケルセチン | 250 mgを1日2回 |
| 亜鉛 | 100 mg/日 |
| メラトニン | 就寝前に10 mg (眠気を引き起こす) |
| アスピリン | 325 mg/日 (禁忌でない限り) |
| パルスオキシメーター | 酸素飽和度の経過観察を行うことが推奨される (手順については、このファイルの2ページ目を参照すること) |

オプションの薬とCOVID-19の予防と治療の開発の概要については、flccc.net/imask-plusをご覧ください。

- * 今後さらに科学的な研究結果が発表されるにつれ、記載されている投与量が更新される可能性がある
- ¹ イベルメクチンの妊娠中の投与に関する安全性は立証されていない。特に妊娠初期の3か月間は、投与を開始する前に、医療従事者とベネフィット・リスクのバランスについて話し合うこと。
- ² 家族内に新型コロナウイルス感染症と診断された人がいる場合、またはマスクを着用せずに新型コロナウイルス患者に長時間暴露した場合に使用する。
- ⁴ 後期の患者 – 入院患者 – www.flccc.net にて FLCCC 発行の MATH+ 病院における新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 治療に関するプロトコルを参照すること
- ⁴ フルボキサミン (fluvoxamine) を処方された一部の個人は、自殺または暴力的な行動へのまれなエスカレーションを防ぐために、処方する臨床医によって注意深く監視および治療される必要がある急性不安を経験します。

本文書の2ページに記載されている **免責事項** と詳細情報を参照すること。

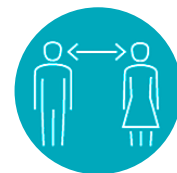
行動予防



マスクを着用すること

いかなる室内空間においても、家族以外の人と接する場合は、布、外科用、またはN95マスク (弁なし) のマスクを着用しなければならない。

換気の悪い密閉空間で家族以外の人と長時間接する時は、N95マスク (弁なし) を着用しなければならない。



人との距離を保つ

新型コロナウイルス感染症が収束するまで、公共の場で家族以外の人と接する時は、最低でも2メートルの間隔をあけることが推奨される。



手を洗う

自宅以外の場所で (買い物、または地下鉄に乗るなど)、または帰宅時には徹底的な手洗い (石鹸で20~30秒) を行うか、手指消毒剤を使用することが推奨される。

I-MASK+

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の予防および早期の外来患者治療に関するプロトコル

2/2ページ

イベルメクチン (ivermectin)

臨床試験の概要 — 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に対するイベルメクチンの効果の証明

イベルメクチンは抗寄生虫薬であり、2015年にその発見者がノーベル賞を受賞した。イベルメクチンは臨床試験を通して、非常に強力な抗ウイルスかつ抗炎症の特性を有することが証明されている。過去4か月間で、世界中の多くの国や医療施設で比較対照臨床試験が実施されたが、イベルメクチンによる治療を受けた新型コロナウイルス (COVID-19) 患者の転帰は一貫して大幅な改善がみられたと報告されている。イベルメクチンを対象とした臨床試験に関する包括的かつ科学的な考察については、以下を参照すること：

www.flccc.net/flccc-ivermectin-in-the-prophylaxis-and-treatment-of-covid-19/

簡単な概要として、イベルメクチンに関する検討を1ページに要約したものは以下を参照すること

www.flccc.net/one-page-summary-of-the-clinical-trials-evidence-for-ivermectin-in-covid-19/

パルスオキシメータ (使用説明書)

症状のある患者は、(無症候性低酸素症の可能性があるため) 自宅パルスオキシメトリによる経過観察を行うことが推奨される。自宅パルスオキシメトリには限りがあることを認識すること。また、検証済みの機器の使用が推奨される。測定値は1日に数回取得しなければならない。測定値の低下は良くない兆候とみなすこと。ベースラインまたは酸素不飽和が94%以下であった場合、入院を勧めること。次のガイダンスに従うことが推奨される：

- つま先や耳たぶではなく、人差し指または中指を使うこと。
- 脈拍が多い時の信号に関連する測定値のみを使うこと
- 最も平均的な値を特定するために、測定値は30～60秒間観察すること
- 測定する指のマニキュアは落とすこと
- 測定を行う前に四肢が冷たい場合は、暖めてから行うこと

免責事項

I-MASK+ 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の予防および早期の外来患者治療に関するプロトコル と MATH+病院における新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 治療に関するプロトコル は新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に対して有益となる可能性のある治療法に関する教育のみを目的として作られたものである。ただし、当社のウェブサイトや当社が発表した記事を読んだという理由から、専門家による医学的なアドバイスを軽視しないこと。本書は、患者に対する専門家による医学的なアドバイス、診断、または治療の代替としての使用は意図していない。個々の患者の治療は、医師またはその他の有資格の医療従事者の判断に委ねること。自身の健康や病状に関して質問がある場合は、医療従事者にアドバイスを求めること。

I-MASK+プロトコルを基にしたイベルメクチンの使用に関する理論的根拠を裏付ける公開データの要約は、www.flccc.net/flccc-ivermectin-summaryからダウンロードできます。



COVID-19プロトコルの更新については、当社のホームページwww.flccc.netを定期的に確認してください。 — さらなる科学的研究が出現するにつれて、新しい薬が追加されたり、既存の薬に用量が変更されたりする可能性があります。